



SESERAGI-MISHIMA
ROTARY CLUB
WEEKLY REPORT

クラブ
週報

2011~2012年度 RI会長 カルヤン・パネルジー
RIテーマ REACH WITHIN TO EMBRACE HUMANITY 心の中を見つめよう、博愛を広げるために

クラブテーマ「会員同志の職業を理解し出来ることはし助け合おう」会長 渡邊照芳
副会長 太田政人 幹事 山田定男

事務所 三島市中央町4-9 小野住理中央ビル2F
TEL. 055-976-6351 FAX. 055-976-6352
<http://www.seseragi-mishima-rc.gr.jp>
せせらぎ三島ロータリークラブ 検索
例会場 ブケ東海三島
TEL.055-984-0120
毎週金曜日 第1・第3 夜間例会

第1074回 例会
2012.1.13 □□□

司会:久保栄子君 指揮:石井和郎君
ロータリーソング「我等の生業」

会長挨拶

会長 渡邊照芳君

本日は、土屋巧君の職業紹介をさせていただきます。土屋君は、さくら税理士法人の代表で税理士をやっております。



この仕事を選んだきっかけは、本来は弁護士になりたかったが、父親が税理士であった事と税理士は税に関する弁護士ではないかと思いいこの仕事を選んだ。

大学を卒業後、東京の事務所に勤めながら31歳で資格を取り、翌年結婚を期に三島に帰り父の税理士事務所に入りました。三島に帰ってきて16年経ちましたが、色々大変な事がありました。その中でもお客様と会計事務所との考えの違いがあり、理解していただけなく顧問契約が解除になった時は、本当に辛かった。しかし税務署と対抗して自分達の主張が通った時は、仕事の達成感が得られる。

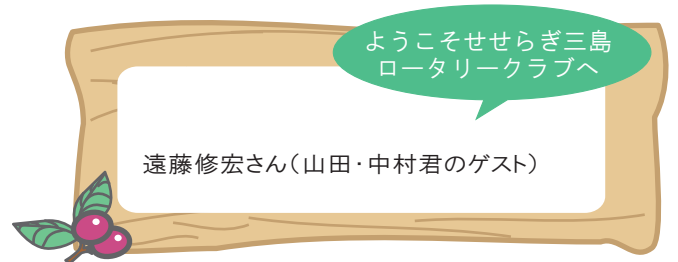
仕事を始めた当初は、会社は利益を出さなければいけないと思いいアドバイスをしてきたが、今は経営者の方々の考え方も千差万別であり、各経営者の価値観を理解して相手の考え方にそってアドバイスが出来るようになった。そして世の中[なる様になる]色々な会社の経営を見てきて、当初立てた計画が色々な事情が重なり思い通りにならない事がままある。ある程度流れに身を任せ、余り小さくならず、大きくかまえ、来るものはこぼまず、その時その時一生懸命に対処する方が良いのではないかと思う。

私の小さい時からの夢でおかしいと思われるかもしれないが、都会の街の真ん中にビルを建て、そのオーナーになり、屋上にプレハブを作りそこで暮らしたい。と言っておりました。

巧さんのお父さん土屋忠さんには、私が会社を始めた時から税務を見ていただいており、又当クラブのバスター会長でもあり、当クラブにもたくさんの友人がおります。税務の仕事は、数字を追っかけ細かい

仕事で性格も几帳面かと思われがちですが、お父さんも良い意味でおおざっぱであり、巧さんもやはり父親の血をひいて、余り細かいことにこだわらず、かなりおおざっぱな性格だと思います。しかし話の中で感じたのは流れを見極め大局を見る事が出来る人なんだと思いました。

早く子供の頃からの夢が叶うといいですね。



ようこそせせらぎ三島
ロータリークラブへ

遠藤修宏さん(山田・中村君のゲスト)

出席報告

	出席総数	出席率	メークアップ	修正出席率
前々回	30/34	88.24%	30/34	88.24%
今回	26/33	78.79%	会員総数	34名
欠席者	あなたが見えなくて残念でした。			

内田君、田中君、根津君、服部君、宮沢君、望月君、山本(良)君

幹事報告

幹事 山田定男君

1. 内田憲一君の事業所が移転しました。
北伊豆観光 有限会社
田方郡函南町塚本916-10
TEL 055-944-6170
FAX 055-944-6115

ファッションについては大概のことは知っているつもりだが、それでもどうしてもわからないことは多いですね。

たとえば「リゾート着はなぜ派手なプリント柄が多いのでしょうか?」と問われても、リゾートウェアってそんなものでしょ、とか、そうじゃない大人しい無地のリゾート着ってものも結構あるよ、などと答えるしかないですよ。

これもファッション・トリビアに関するようなもので、知っておいて損にならないが・知らなくてもどうでもよいことが多い。

ただしフォーマルウェアについての知識、こればかりは知っておいてけって損にならない。というよりも知らないと恥をかくことにもなりかねない。

何をどう着ようがかまわない自由な着こなしが横行する現代の世の中だが、フォーマルウェアの世界だけはそういうわけにはいかないので注意してください。

背広などのラペル(衿)はなぜあるの

テーラード(紳士服仕立)なスーツの上着に特有の「背広衿」これの上の部分はカラーcollarといい、下襟の部分はラペルlapelと呼ばれる。

ラペルとは元々「折り返した部分」ということで、これは背広服の発生と大きな関係があったそうです。

背広服の原型は学生服のような「立ち衿」型の軍服とされ、この衿を大きく折り返したところから生まれたのが、あの背広独特の衿の形なのだ。

男の子だったら誰でもが一度はやったことがあると思いますが、学生服の前ボタンをいくつか外して、詰襟のところからぐっと折り返すとあの形になり、これを「背広」などと言ってよろこんだものです。

軍人たちも長い行軍の果て、休憩時には胸を開いてくつろいだ。それがラペル発生のルーツなのだろうです

ブレザーの語源は?

一番有名なのは1877年ごろに行われた英国ケンブリッジ大学とオクスフォード大学との対抗ボートレースから生まれたもの。このときケンブリッジ大学のボート部員が真紅ジャケットを(赤白のストライプの説もあり)をユニホームとして着用し、試合に臨んだ。その姿が川面に映ってゆらゆらと揺らめいている様子を見た観客の中から、期せずして「オオー、ブレイザー!」(おお、炎のようだ)という喚声が起こり、これが「ブレザー」の語源になったという訳。

もうひとつは英国海軍の軍艦ブレイザー号(英国商船の説もある)の乗組員たちの服装があまりにだらしなかったために濃紺サージで作ったダブル・ブレ

ステット型のジャケットを与え、これが現在のダブルのブレザーにつながったと言われているそうです。いずれにしてもブレザーの元の語が「ブレイザーblazer」(炎の意)であることは間違いないようです。

ゴージ(ラペルの切り込み)は何のため?

背広の衿に見られる「衿刻み」のことを、一般的にゴージと呼んでいる。

上衿(カラー)と下衿(ラペル)の接点に当たる線のことにはゴージ・ラインといい、これは「衿縫い線」を意味している。

それでは、ゴージって何なんだろう?　ゴージgorgeとは英語で「喉」とか「食道」という意味。

背広のジャケットの衿全体を一度立ててみると、そうするとゴージ・ラインの部分がどうなるか?おそらく首元の「喉」あたりにピッタリくるでしょう。

そう、そこに現われている詰襟の学生服のような形が、いわゆる「背広」の原型です。つまりゴージといいゴージ・ラインといい、それらは背広誕生の名残りを示しています。

軍服のような服を「立ち衿の服」というのに対し「折り衿の服」と称されます。

シングル前の服の衿を折り返せばゴージはノチット・ラペルの「菱形」を形作り、ダブル前のそれであればピークト・ラペルの「剣衿」となるのも、そうした道理から来ているのです。

ベント(後ろの仕切り込み)は何のため?

ベントventは「空気穴、通風孔」といった意味で、ベンチレーション(風通し、換気)などの用語もここから生まれているそうです。

ファッション用語でベント(多くはベントと複数形で用いられるが)というと、まったく違った意味になってくる。たとえばセンターベント(後ろ中央縫い目にとった割れ目)はテーラーさんの用語では「馬乗り」といい、これは乗馬の際、裾が邪魔にならないように割ったところからきている。

またサイドベント(これは両脇にとるところら複数形になる)は「剣吊り」と訳され、これは昔、軍人たちがサーベルなどの剣を取り出しやすくするためにあけたのが起源とされています。

すなわち、ベントはただの飾りではなく、あくまでも動きやすさということを目的とした機能性から考えだされたデザインです。

ちなみにベントは布地が重なっているのが条件でそうでないものは「スリット」と呼ばれます。

袖のボタンの意味は?

背広上着のそで口にはいくつものボタンが仰々しく並んでいます。

これをカフスボタンと呼んでいますが、これを最初に考え出したのはあのナポレオン・ボナパルトであったという話があります。

冬の露口巻籠の中で、鼻水を袖口で拭く兵士を見たナポレオン、そのみっともない行為を止めさせるために、軍服のそで口のまわりは金属製の罫罫を巻取り取り付けたのがその起こりだ。その後、背広の時代はなつてこれが袖開き用のタテ型に配列されるようになり、その部分は本当に開くようにできていた。つまり、力仕事などをする時には袖ボタンを外し、袖口を折り返したものだそうです。こうした形をあらわすは「ボクシングタイ」などといい、日本では「本開き」とか「本気切羽」などと呼んでいます。現在では「空き見せ(イミテーション・カフ)」などといって、実際には開かないようになったのが大半です。これはそうした古きよき時代の名残りし言えます。

学校の制服はなぜセーラー服が多いの？

日本の女子学生はセーラー服が採用されたのはいつのことか？
これにも諸説があるが「まさに「制服の邪馬台国論争」を呈しているのだけれど、最近の説では1921(大正10)年の福岡女学院が最初ということに落ち着いているようです。初代校長であるミズノマリザベス・サイが自らデザインしたセーラー服を着て来日。これを基本にしてその年12月、セーラー服を制服として正式採用したところから、全国のミッション系の女学校に広まったというのが、どうやら真相のようなのだ。

セーラー服はそもそも1857年、英国海軍の水平(セーラー)の正式制服として制定されたもので、その後、各国の海軍がこれを見習うようになっていった。日本海軍ではこれを「ジヨウバウ」と称していたといふ。女学生の間ではキモノは小汚いといふ風習が女学生風俗として明治時代の末ごろから定着していたが、キモノではやはり不便ということで、機能的かつ英国の伝統的なセーラー服が注目され、その処女性とも相まって普及したそうです。

招待状に「ブラック・タイで」の指定だと、なぜタキシード着用なの？

男の夜の礼装はイブニングコート(燕尾服)をもって最上級としている。スワローテイルコート(テイルズ)などとも呼ばれるこれは、1789年の春に「チェックイン・ブロッケコート」の名で登場し、1850年に至って夜間の正礼装と昇格した。その着こなしには厳格なルーズがあり、罫罫は白麻のボウタイ(蝶ネクタイ)でなければならなかったし、ベストは白ピケ製と決まっていた。

このイブニングコートの略式とも登場したのがウエストコート(英国ではジョウロウコート)だ。ただ、その必要もなく、ベストの代わりにカマーバンド、

硬いボウタイではなくソフトカラーのシルク、側章も一本でよいと簡略化の傾向が進んだのである。となるとネクタイもボウタイの形はよいが、白麻よりも扱いやすいもので、かつ汚れが目立たない黒のシルク地のものにしようということになったのだ。ここに「ホワイト・タイ」とは燕尾服着用。「ブラック・タイ」はタキシード着用の、というドレスコードが定まったのです。

日本では結婚式には「白タイ」で葬式には「黒タイ」なの？
他の国では？

日本人男性にこそよく愛されているブラックスーツ(黒の略礼服)あれは実は日本人の発明によるものであつて、国際社会では通用しない。

ましてやこれに白の結び下げ式のネクタイ(シルバータイなどと呼んでいる)を着けて結婚式などのお祝い事に、黒のそれに換えてお葬式になどという使い分けをするのは、まことにもって日本的な習慣でしかない。同じ服をネクタイのチェンジだけで慶事にも弔事にも使い回しするという戦後の物不足時代的な発想は、もうそろそろ再考されてもよいように思います。弔事における黒ネクタイというのは万国共通だからよいとして、問題は慶事における白ネクタイです。これこそ日本独特の礼装用ネクタイで、海外ではまず見当たらない。これに相当するのは明るいグレイの無地ネクタイで、これは本来モーニングコート用のアクセサリーとされているのです。

招待状などの「平服でどうぞ」は一般的にどこまで許されるの？

パーティーの招待状でいちばんやっかいなのが、この「平服でどうぞ」というヤツである。主催する側も「平服」が何であるか分かってないままに、そんな指定を出すものだから困ってしまう。で、辞書などを引くと「平服=平常着る衣服、ふだん着。礼服の対語」などと出ているものだから、ますます混乱してしまうのだ。ここではっきりとさせておきたいと思います。

パーティー会場などにおける「平服」とは、断じて「自由な服装」の意味でない。けっしてビジネスウエアなどの「ふだん着」でもないのです。

ここでいう「平服」とは、夜の雰囲気にもふさわしいドレスリーな服装ということなのであります。その方面に詳しいデザイナーや「紳士礼装の(かたちと(こころ)」などの本によると、その条件は・無地であること(柄ものは昼間のもの)
・暗調であること(ダークな色調)
・光沢のあること、の3点に絞られるという。皆様、心してお出かけあれ。



委員会報告

IT化・ロータリー内広報委員会

委員長 中村 徹君

ロータリーの友平成24年1月号紹介

1、RI指定記事であるRI会長メッセージ、1頁に注目してください。十分な数の人々がロータリーに入会しているにもかかわらず、非常に多くの人々がロータリーを去っていることは、さまざまな数字が物語っています。私たちは彼らに対し、どのような期待に応えられていないのでしょうかと、ロータリーへの危機を訴えています。

2、12頁から13頁には昨年11月第40回ロータリー研究会で行われた講演内容がRI戦略計画委員より解説されています。それによると、RIの方針が「長期計画」から、「戦略計画」という長期的な視野のもと、将来性のある活動が要請されました。優先項目「クラブのサポートの強化」、「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」についてRIが示す方向性をクラブは議論し、理解して欲しいこと、そしてクラブはRIの方針を受け入れ、自主的な運営や活動を促されています。クラブの活性化、改革なくして、ロータリーの発展はありません。

3、1月27日例会にてクラブフォーラムを開催し、クラブの中長期戦略計画について会長、幹事、五大奉仕各委員長さんはじめ会員各位のご意見をいただきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。



スマイルボックス

中村 徹君:今日、社会保険労務士遠藤修宏さんがゲストで来られました。2週後1月27日には正式入会となります。皆様よろしくお願ひいたします。

山本 章君:先日はお誕生日記念のお祝ひありがとうございました。

片野誠一君:先月のゴルフ同好会のコンペで優勝させていただきました。皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。

土屋 巧君:12月のコンペで久々に準優勝でした。調子が良くなかったのですが、周りの方ももっと調子が悪かったようで好結果となりました。またよろしくお願ひします。

杉山 隆君:本年もよろしくお願ひいたします。当クラブの矢岸さんなどのご尽力もあり、米山記念館の看板制作を依頼されました。ありがとうございます。頑張ります。

矢岸貞夫君:新年会での親睦委員会及び担当の方々ご苦勞様でした。今年度もよろしくお願ひいたします。

中山和雄君:先日の4クラブ合同新年会にご参加ありがとうございました。お陰様で皆さん満足していただいたと思ひます。親睦委員の皆様ご苦勞様でした。所用で早退します。

米山晴敏君:仕事があつて西原さんの卓話を聞けなくてごめんなさい。

おめでとう

会員誕生日	1月2日	鈴木政則君
	1月7日	山口辰哉君
	1月19日	片野誠一君
入会記念日	1月6日	山本章君
	1月9日	石井邦夫君
	1月15日	片野誠一君

